

# 難民支援 NGO “Dream for Children” 2017 年度活動報告書



## 目次

ご挨拶	2
2017年度の子ベットの状況	3
2017年度のビルマの状況	7
2017年度の活動	8
2017年度会計	12
付録1：チベット難民からのサンクスレター	13
付録2：チベット難民の生徒たちは今	14

### [表紙写真]

2017年に来日したラモ・ツォと代表亀田浩史。ラモ・ツォは亡命直後、私たちの英語学校で学んでいました。2017年、ラモ・ツォの夫で、映画を製作して6年間投獄された映画監督ドンドゥブ・ワンチェンが亡命に成功し、家族と再会しました。

## ご挨拶

平素より格別のご支援をいただきまして、ありがとうございます。

昨年度の最大のニュースは、ラモ・ツォの来日と、ラモ・ツォの夫ドンドゥップ・ワンチェンの亡命成功です。

ラモ・ツォとはインドのダラムサラの英語学校で出会いました。当時、彼女の夫ドンドゥップ・ワンチェンは映画を製作したことが中国当局から罪に問われ、懲役6年の判決を受け、投獄されていました。ラモ・ツォは毎日のように外国人に、夫の釈放を求めています。当時のラモ・ツォはいつも険しい顔で、ときおり涙を流していました。当時、ラモ・ツォが笑った姿を見たことはありません。

しかし、昨年の来日時、ラモ・ツォは笑顔を浮かべていました。実は、水面下で、ドンドゥップ・ワンチェンの亡命計画が進んでいました。そして、来日の翌月、ドンドゥップ・ワンチェンが亡命に成功し、家族が再会を果たしました。

みなさまのご支援のおかげで、1人のチベット難民が笑顔を取り戻すことができました。

ラモ・ツォは次のように語っています。

「夫の他にも不当に投獄されているチベット人が6千人もいます。子供の頃、私は学校に行ったことはありません。教育を受けたことがある外国人のみなさんなら、きっとこの状況を変えてくださると思います。」

1人でも多くの難民の人が笑顔を取り戻すことができるよう、今度もご支援いただけますと幸いです。

代表 亀田浩史

## 2017年度のチベットの状況

チベット本土は、依然として、中国政府によるチベット人への激しい民族弾圧・宗教弾圧が続いています。

### 【続く焼身自殺】

2011年から急増している焼身自殺が2017年度も続きました。2017年度は、チベット本土で6人が、中国政府のチベット弾圧政策に抗議して自らの体に火を放ちました。2017年度末でのチベット本土での累計の焼身自殺者は152人となりました。

また、中国当局は、家族が葬儀を行うのを禁止したり、焼身自殺のニュースをメールで送信した人を逮捕するなどしています。

### 【ドンドゥプ・ワンチェンが亡命に成功】

2017年12月25日、チベット人映画監督ドンドゥプ・ワンチェンが亡命に施行し、アメリカで暮らす家族と再会しました。ドンドゥプ・ワンチェンはチベット本土でチベット人にインタビューを行い、映画“Leaving Fear Behind”を製作しました。その後、ドンドゥプ・ワンチェンは中国当局に逮捕され、6年間投獄されました。釈放後も厳しい監視下に置かれていましたが、2017年について亡命に成功しました。亡命後は、アメリカ議会などで自身の経験を証言しています。

### 【ドンドゥプ・ワンチェン亡命成功後の妻ラモ・ツォのメッセージ】

夫と最後に会ってから、もう10年と2か月になります。そして、12月25日について再会を果たせました。私たち家族にとって喜びの瞬間です。しかし、同時に、哀しみが混じった喜びでもあります。再会してから3日がたちますが、これが現実なのかまだ信じられません。

夫ドンドゥプ・ワンチェンを支援して下さった友人に「ありがとう」と言いたいです。海外に住んでいる方、電話で励ましてくれた方に対してもです。直接支援はできないが、私たちのことを忘れないと言ってくださった方にもです。みなさんの気持ちをとてもうれしく思っています。みなさんの想いが私の意志

を強くしました。みなさんの心の中にも、私たち家族の再会を願ってくださる  
同じ想いがあったのだと思います。

今日、私達家族の願いはかなえられました。私の人生で至福の瞬間です。



亡命に成功して家族と再会したドンドゥプ・ワンチェン（写真提供：ラモ・ツォ）

[参考：ドンドゥプ・ワンチェン投獄時のラモ・ツォへのインタビュー]

私の夫が逮捕された理由は皆さんに見ていただいた通りです。私の名前はラモ・ツォ、ドンドゥプ・ワンチェンの夫です。夫と私は東チベットのAMD地方の出身です。私たちは学校に行ったこともなければ教育を受けたこともありません。

私たちには4人の子供がいます。夫は逮捕される前、子供たちに教育の重要性を説いてきました。チベット人が現在の苦境から抜け出すには教育しかないからです。また、夫は、教育のみならず、人間としてのモラルを持った立派な人になるようにと子供たちに言っていました。

夫には10人の従兄弟がいます。彼は、従兄弟たちと70歳になる母親を愛していました。それでも、夫は彼の信念を行動に移しました。たとえそれがどのような結果になろうとも。夫が逮捕された後、70歳になる夫の母親は相当なショックを受けていました。

夫はどのような結果になるかわかっていたと思います。チベット人に中国の政策に関するインタビューを行い映画化すること、それも中国領チベットで行うことがどれほど危険であるかは認識していたと思います。しかし、夫は家族を置いたまま、思いを行動に移しました。インタビューを行う方が大事だと考えたのです。そしてこの映画を製作したために夫は懲役6年の刑を受けたのです。

みなさんに質問があります。あなたの国では一般市民にインタビューをして映画化することで懲役6年の刑に処されるということがあるのでしょうか？

夫の映画の中で紹介されているのは、ダライ・ラマ法王に対する思いをはじめとして、チベット人がごく一般的に感じていることです。それにも関わらず、夫は有罪になりました。いかにチベットに自由がないかがわかっていただけたと思います。

夫が逮捕された後、裁判にあたって協力を申し出てくれた中国人の弁護士が2人いました。しかし、彼らが弁護することは政府により禁じられました。中国領チベットでは、昔からチベット人の裁判で弁護士がつくことはありません。特に政治犯の場合はそうです。夫の裁判の日程は家族にすら知らされませんでした。裁判は非公開で行われ、刑が言い渡されたのです。

夫は獄中でB型肝炎を患いました。普通の国であれば、治療が受けられると思います。しかし、夫は治療を受けることができません。政治犯はたいていそうです。夫の健康状態が心配でなりません。

夫は病を患っており、刑期は6年もあります。とても楽観的な気持ちにはなれません。夫が中国の劣悪な刑務所の中で無事でいられるか心配でなりません。政治犯の刑務所内の環境は特にひどいです。私は世界中の人々に対して声を上げていきます。みなさんに他人事だと思ってほしくないのです。このような状況を知って、考えて、行動してほしいのです。私は、夫が1日も早く無事釈放されることを願わない日はありません

私のように夫の刑務所からの帰還を待つ女性はチベットに何千人もいます。息子の帰りを待つ親もいます。こうした人々を代表して、本日私の話を聞いていただいたことに深く感謝します。(ラモ涙を流す)

私の使命は多くの人に私の夫の話をすることです。毎日、夫のことを思い出すこと、そして夫の話をすることがどれほど辛いかわかりただけででしょうか？しかし、それでも、獄中にいる数千人のチベット人のために、私は語り続けます。

この映画は教育を受けたこともない夫が撮影したものです。教育を受けた皆さんなら、チベットのためにきっと夫以上のことをしてくださると信じています。

今日は私の夫の映画を見てくださり、また、私の話を聞いてくださり、ありがとうございました。

### 【中国政府がチベット仏教施設やチェン・ガルを大規模破壊】

一昨年、中国政府は、東チベットにあるチベット仏教施設ラルン・ガルで建物約7千戸を破壊し、僧侶・尼僧約数万人を追放しました。

昨年、中国政府はターゲットを別の仏教施設やチェン・ガルに移し、建物2千戸を破壊し、僧侶・尼僧2千人を追放しました。

### 【インドのチベット難民街でのイベントで中国人が暴行】

インドのダラムサラで NGO グチュスムの会が主催したイベントに中国人女性が乱入し、主催者に暴行しました。この女性は、インド警察に逮捕され、国外退去となりました。

## 2017年度のビルマの状況

我々の直接の支援先であるビルマ東部では大きな事件はなく小康状態ですが、ビルマ西部を中心に情勢は不安定です。そのため、難民の人たちが今すぐ安全に帰国できるとは言えない状況です。

### 【政府主導によるロヒンギャ人の迫害】

政府によるイスラム教徒のロヒンギャ人の迫害が続いています。

特に、2017年8月から9月にかけて、政府軍がロヒンギャ人に弾圧を加えました。政府軍はロヒンギャ人に「国から出て行かなければ殺す」と言い、攻撃を始めました。子供のレイプ、射殺も多発しました。

このような状況の中、約50万人が難民となりバングラデシュに流入しました。



## 2017年度の活動

	国内の活動	現地の活動
4月	ロビー活動 国際人養成事業	
5月		
6月		
7月		インドの子ベツト難民街での支援活動 ・物資支援 ・英語教育 ・コンピュータ教育 ・その他就職対策教育
8月		・現地調査 ・スタディーツアー
9月		
10月	ロビー活動 国際人養成事業	
11月		
12月		
1月	チャリティ英語セミナー（名古屋）	
2月	ロビー活動 国際人養成事業	
3月	国際協力セミナー（名古屋） 『子ベツト難民の今 ～今同じ地球の上 で起きていること～』	

## 国内の活動

国内では難民問題の啓発活動に重点を置いて活動を継続しています。

### 【ロビー活動】

2017年度も、日本の政治家にチベット問題を知ってもらうためのロビー活動を実施しました。2017年度にロブサン・センゲチベット亡命政権首相が来日された際、自民党議員を中心とする多くの議員の方が耳を傾けてくださいました。

また、代表亀田浩史の訳書「暗闇に差した光～ダプチ刑務所の14人～」の内容が櫻井よしこ国家基本問題研究所理事長の「チベット 自由への闘い」で取り上げられました。

### 【講演会】

2017年度もチベット難民関連のセミナーを行いました。特に、ドンドゥブ・ワンチェンに焦点を当て、チベット人が受けている弾圧について紹介しました。

### 【ブログでの啓発活動】

現地で起きている出来事の中で、日本のメディアが中国政府に配慮して取り上げない情報を中心に、ブログで情報拡散を続けています。中国当局によるチベット本土の通信規制強まり現地の情報が撮りにくい中、貴重な情報源になっていると自負しております。

### 【国際人養成事業：名古屋英語特訓道場】

チャリティセミナーを行いました。また、通期での英語指導も行っています。収益は難民支援活動にあてています。

## 現地の活動

ビルマ東部と比較してチベット情勢が著しく悪いため、2017年度もインドのチベット難民街で集中的に活動を行いました。

### 【物資支援】

文具、衣類を、チベット難民の子供たちが暮らすチベット子供村へお届けしました。



亡命先で暮らすチベット難民の子供

### 【チベット難民の学校での英語・コンピュータ教育】

亡命直後で言葉が通じず困窮している難民向けの英語・コンピュータ教育を継続しています。

さらに、放課後の空き教室を使って、過去に不当投獄・拷問を受けたチベット人の話を聞く場を設け、外国人向けに啓発活動を行っています。

2017年から学校を訪れる外国人を対象としたカフェサービスを開始し、収益を学校運営にあてています。



チベット難民の学校の様子

### 【高等教育を志向する難民への返済不要の奨学金支給】

昨年度から開始した高等教育を志向する難民への返済不要の奨学金支給を継続しています。

奨学金の希望者が多いこともあり、一定の成績を維持できなければ、奨学金は打ち切りとなります。このような中、2017年度も2016年度と同じ医学を学ぶ難民の生徒が受給者となりました。(彼の家族はチベット本土におり、亡命していることが中国政府にばれると、中国政府から迫害を受ける可能性があるため、氏名等の情報は開示できません)。

### 【チベット難民街を訪ねるスタディーツアー実施】

インドのダラムサラを訪ねるスタディーツアーを実施し、チベット難民が置かれている状況、チベット本土で起きていることを学びました。

## 2017 年度会計

単位 [円]

前年度繰越	▲ 721, 243
収入	
事業収入	1, 750, 238
会費収入	80, 000
助成金	0
寄付（一般寄付）	0
寄付（現地支援寄付）	12, 100
計	1, 842, 338
支出	
啓発事業費	303, 911
海外事業費	215, 707
国際人養成事業費	214, 822
現地への寄付	201, 166
旅費・交通費	173, 452
管理費	492, 398
広告費	50, 646
印刷費	11, 853
送料	66, 002
計	1, 729, 957
今年度収支	112, 381
次年度繰越	▲ 608, 862

## 【付録 1：チベット難民からのサンクスレター】

[チベット子供村から]



[チベット難民の学校から]



## 【付録 2：チベット難民の生徒たちは今】

### 1. ゲレーロ（仮名）



チベットから1人で亡命してきた彼。もともとは英語の生徒として私たちの学校で学んでいました。英語をマスターしてからは、学校で最年長のスタッフとして、若いスタッフの指導役をしてくれていました。

その後、オーストラリア政府から受け入れを認められ、親族の暮らすオーストラリアに亡命していきました。

### 2. ヤングマン（仮名）

チベットから1人で亡命してきた彼。亡命直後から、英語の生徒として私たちの学校で学んでいました。英語をマスターしてからは、学校のスタッフとして勤めてくれました。夜に行う外国人向けのイベントでの通訳、料理などを担当してくれていました。

その後、フランス政府から受け入れを認められ、フランスへ亡命していきました。